

題名	群体性緑藻クンショウモの赤/遠赤色光可逆的な新群体形成
学会名	ユーグレナ研究会 第36回研究集会（2021年10月30日[土]、帝京大学宇都宮キャンパス、オンライン）
発表者	○齋藤 優穂※, 丸山 瞬※, 関本 純佳※, 嶋田 匡※, 篠村 知子 発表者【○】、本学教員、研究員および技術職員は【アンダーライン】、大学院生、卒研生または卒業生は【※】
概要	2021年10月に行われた上記学会において、大学院生の齋藤 優穂さんが上記演題を発表しました。群体性緑藻クンショウモの無性生殖サイクルは、「①多核化を伴う細胞の肥大化」から「②細胞質分裂を伴う遊走子形成」までの過程は、12時間以上の連続白色光照射(90 $\mu\text{mol photons m}^{-2} \text{s}^{-1}$ )が必要であり、糖を添加することにより暗所でも進行したことから、この過程は光合成を駆動する光照射が必要なが分かりました。さらに、「③遊走子放出」から「④遊走子接着と新群体形成」までの過程の光応答赤色光で促進されること、その応答は赤・遠赤色光可逆的あることが明らかになりました。発表はオンラインの口頭発表であり、発表に対する質問が、直接の口頭での質問ばかりではなく、Zoomへのチャットにも多数寄せられ、活発な討論が行われました。
関連画像	<p>クンショウモの無性生殖サイクルの過程</p>